

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

通信

平成 24 年 6 月号 (第 25 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY



「カフェ・バルコニーの家通信」
平成 24 年 6 月号をお届けします。
間もなく梅雨。じめじめ、蒸し暑い日が
訪れます。。
規則正しい生活を心がけ、鬱陶しい
気候に負けないようにしましょう。



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



カフェ・バルコニーの家の花壇に看板ができました。

園芸担当の K.H です。皆様の協力のお蔭で、中磯辺公園の「カフェ・バルコニーの家の花壇」に看板が完成しました。この看板はボランティアさんと、メンバーで協力し、3 か月かけて、トールペインティングで作りました。

これからますます気合を入れて手入れをしていきます。

今、パンジーとビオラが咲き誇り、カラーやアガパンサスも成長し、夏が楽しみとなりました。

お近くにいらっしゃた際には、見に来てくださいね。





帝京平成大学で開催されたフットサルクリニックに参加しました。

4月29日に帝京平成大学で開催されたフットサルクリニックに参加しました。

当日は天気もよくバルコニーのメンバーもたくさん参加してくれたので楽しかったです。

JEFの選手が指導してくださり、クリニックでは、チームで協力することの必要性などとても勉強になりました。

自分は普段あまり外に出ていなかったので体力がなく、ついてくのがやっとでした。次回もぜひ参加して体力をつけようと思います。 (T.I.)



きぼーる販売に参加しました。

4月21日の日曜日、スタッフとメンバーの男性と僕の三人できぼーるの販売に行ってきました。僕は二度目でした。

前回に比べ、お客さんがなかなか集まらず、不安でした。

まだ販売に慣れていない僕は、なかなか大きな声で接客することが恥ずかしくて勇気がいりました。

それでも、少しずつお客さんが足を止めてくれたり、商品を買ってくれると嬉しくなり接客が楽しくなってきました。

販売した商品は、お弁当の炊き込みご飯とお赤飯、それに和菓子の柏餅などいろんな種類です。

また6月10日にきぼーるの販売をします。皆様もぜひお立ち寄りください。 (K.T)



メンバー・ボランティアさんからのメッセージ



和菓子作りのボランティアをしています。

早1年、和菓子作りボランティアとして通い始めてもうすぐ1年になります。週2日ですので、存在感のない私でしたが、ようやく名前を覚えてもらえたようです。

年齢を重ねると、心も体も〈和のもの〉に癒されるようになります。歴史、和食、着物そして和菓子。師匠（簗下敦子さん）に学び、メンバーさんやボランティアさんと作り上げます。そして、ランチのお客様に味わっていただいています。

和菓子作りは全くの素人の私ですが、お菓子里にまつわる諸説を聞いたり、少しばかり歴史にふれたり、懐かしいかのような心地よい空間で和菓子を作り、充実した貴重な時間を過ごしています。

我が家の26才の長女は18才で統合失調症になり、辛い時期もありました。でも今は母子とも「やりたいことができる幸せ」を実感しながら、笑顔で過ごせる日々感謝しています。

これからも皆さんから元気をもらい、私らしく続けていけたらと思っています。

HP中の〈和菓子のコラム〉ぜひご覧になってください。

汗と涙の結晶というところでしょうか。（ボランティア 長谷川早苗）



作品展示会での出展後記：写真撮影へのこだわり

今回は私の写真撮影のこだわりについて語りたいと思います。私はカフェバルコニーの家で今年の2月に作品展示会をやったとき写真を出展させていただきました。この写真はA4のサイズで印刷されたもので菊の花と紅葉の写真を飾っていました。どちらも画角と構図と色にこだわり、自分の記憶の中でその写っている対象を思い出し、その被写体に一番ふさわしい色と形になるようにパソコンで編集し残すようにしてきました。

そのこだわりはやはり私の理念の一つである「美しくなければ意味がない。色が悪ければ写真じゃない。」という理念を具現化したものでもあります。その実現のためにカメラに求めるのは単にぼかすのではなく、ぼけないなりにも画角を自由に決められる望遠能力やカメラとしての発色の美しさを決める CCD センサー、後は一瞬の瞬間を逃さない AF 性能だったりします。そういったものが今回作品を作るうえでこだわったものでもあります。

きっと自分は写真を撮るとき我が無くなるという感覚で集中して撮っていますが、それでもこういった理念が無意識のうちに写真に反映されていると思います。主に今は四季を彩る植物をメインに撮っていますが、これからもその理念を活かしつつ、他のメンバーも写真に興味を持てるように作品作りを心がけたいと思います。

そして一人でも多くの方が自分のこういった写真への理念に共感し、カメラを持って外へ行くことで、外の世界にはこんなに美しいものがあるんだと思ったり、引きこもりがちな生活

が一変したり、仲間に話す事が増えて社会的になったりするというような変化が訪れることをあればいいなと思います。(高橋秀明)



カフェバルコニーの家からのお知らせ

1. NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる
平成 24 年度賛助会員を募っています。
入会金 2,000 円 年会費 3,000 円(1口)です。
賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
2. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。
年会費 1,000 円(郵便振替 郵便振替 00180-2-322417
NPO 法人カフェ・バルコニーの家) 振込用紙は各郵便局にあります。
詳しくは郵便局で。又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参下さい。
3. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために当会の活動に体験参加
できます。(体験料 1日 200 円)
4. 当会で 2 年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験
資格が得られます。(調理実習免除)**



ご支援ありがとうございます。



平成 24 年度賛助会員になってくださりありがとうございました。

ご支援をよろしくお願いいたします。

岩本佳子様、上田都美枝様



ご寄付を頂きありがとうございました。

中山伶子様 (お米 5kg)



<カフェ・バルコニーの家 通信 第25号 6月号>

- 発行場所 : カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 藪下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- Email : cafe-balcony.mihama@cnc.jp